

2023年1月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済については、個人消費において
緩やかな持ち直しの動きが見られる

内閣府の月例経済報告（2023年1月25日公表）において、「景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している」との判断に引き下げられた。総合の景気判断が引き下げられるのは、11か月ぶりであり、世界景気の減速から「輸出」、「生産」の動向に弱さがみられる点が下方修正の要因と考えられる。

以下では、「全国的情勢」、「和歌山県的情勢」を主要経済指標（主に12月の値）に基づき報告する。

全国的情勢

① 需要動向に関しては、「個人消費」、「住宅建設」、「設備投資」、「公共投資」のいずれについても、前月の判断が維持された。「輸出」については、輸出数量指数が2か月連続で低下していることもあり、「このところ弱含んでいる」との判断に引き下げられた。

② 企業活動に関しては、「生産」、「業況判断」、「企業収益」については、前月の判断が維持された。「倒産件数」については、足下の倒産状況を踏まえ、「低い水準ではあるものの、このところ増加が見られる」との判断に引き下げられた。文言に「増加」との表現が追加されるのは、2020年9月以降では初めて。

③ 雇用情勢に関しては、「持ち直している」との判断が維持された。

④ 物価に関しては、「国内企業物価」、「消費者物価」とともに「上昇している」との判断が維持された。

⑤ 世界経済に関しては、「一部の地域において弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しが続いている」との判断に引き下げられた（下方修正は2か月連続）。コロナ禍の感染状況悪化の影響が懸念される中国に加えて、2022年10～12月期の実質GDP成長率が約7年ぶりにマイナスとなった台湾で景気判断が下方修正された。

和歌山県的情勢

① 個人消費面では、百貨店・スーパー販売額（全店、12月）は、前年比0.7%増となり、3か月連続で前年を上回った。ただし、前年に比べて集計対象店舗数が増加したにも関わらず、増加幅は縮小している点や近鉄百貨店和歌山店の販売額（12月）が、3か月ぶりに前年を下回っている点には注意が必要。

コロナ禍の感染状況が12月に入り悪化し、28日には1日当たりの新規感染者数が過去最高を更新した（2,389人）。また、和歌山市内の消費者物価指数（総合）は、前年比3.4%上昇となっており、約8年半ぶりの高い水準にある。以上の2点が百貨店・スーパー販売額に影響を与えているものと考えられる。

新車登録台数（12月）は、前年比1.8%減となり、4か月ぶりに前年を下回った。日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会とともに、部品不足、半導体不足に伴う新車の供給不足が続く、23年の販売状況は引き続き不透明感が残ると指摘している。

新設住宅着工戸数（12月）は、前年比1.1%減となり、3か月連続で前年を下回った。2022年累計での着工戸数は前年同期比3.6%増となっており、「貸家」及び「分譲住宅」で前年を上回る着工戸数となった。ただし、資材価格高騰の影響による建設コストの増加から、「持家」の着工戸数は減少傾向にある。

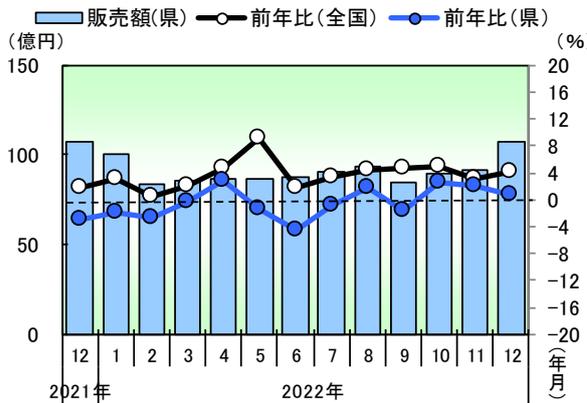
② 企業活動面では、鉱工業生産指数（11月）は、前月比0.4ポイント上昇（上昇は2か月ぶり）。10月に約4年ぶりの高水準まで上昇していた生産用機械工業が下降に転じ

るも、はん用機械工業や繊維工業で生産活動高まり、全体としての指数は100を上回る水準にある。

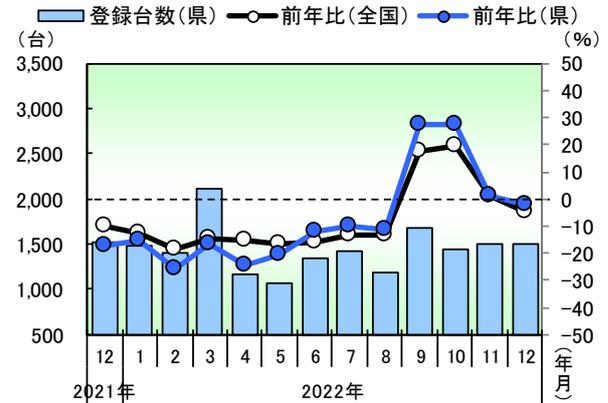
公共工事請負金額(12月)は、前年比2.3%減となり、4か月連続で前年を下回った。大型工事の発注件数が減少しており、4~12月累計での請負金額は前年同期比11.9%減となっている。県内では、2021年後半以降、公共工事請負金額の減少傾向が強まっており、地域別では、田辺地区(4~12月累計で前年同期比37.6%減)、新宮地区(同39.0%減)、湯浅地区(同11.5%減)、岩出地区(同13.1%減)、和歌山市地区(同7.4%減)となっている。

③雇用面については、有効求人倍率(12月)は、前月から0.03ポイント下降し1.13倍となった(下降は4か月ぶり)。有効求人数の減少傾向が強まっている。県内では、12月以降、コロナ禍の感染状況が悪化しており、このことも原因の一つと考えられる。また、有効求人数の減少傾向は全国においても見られ、ニッセイ基礎研究所は、輸出の低迷を背景とした製造業の生産活動の低下、物価高による国内需要の下押しなどが労働市場に悪影響を及ぼし始めていると分析し、「雇用情勢の改善に陰りがみられる」としている。

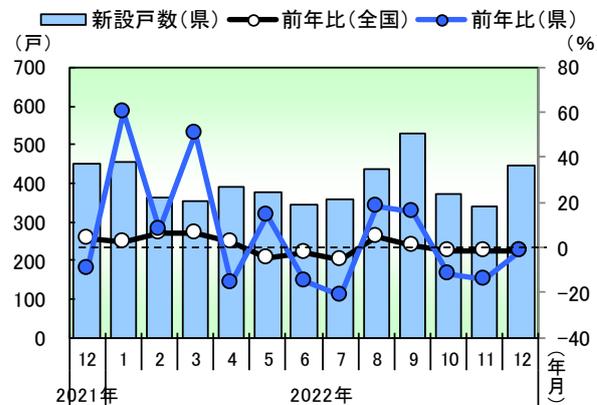
百貨店・スーパー販売額



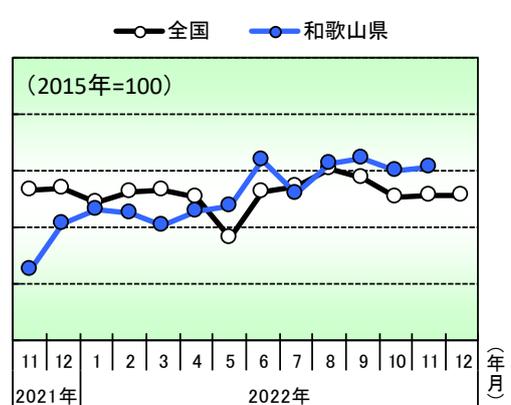
新車登録台数



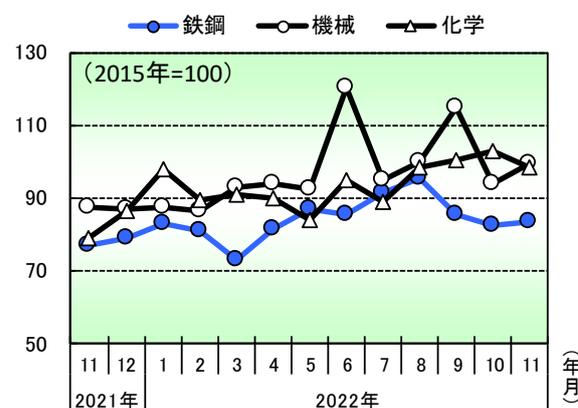
新設住宅着工戸数



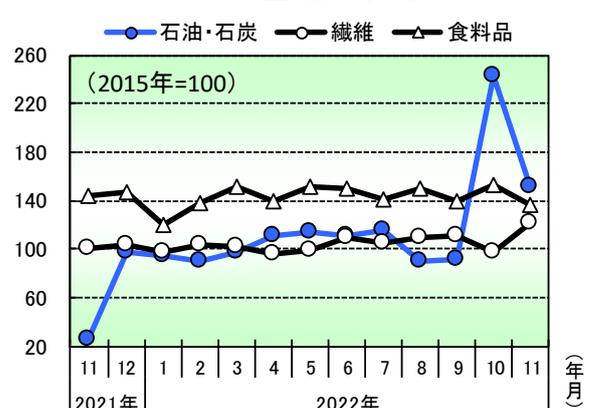
鉱工業生産指数



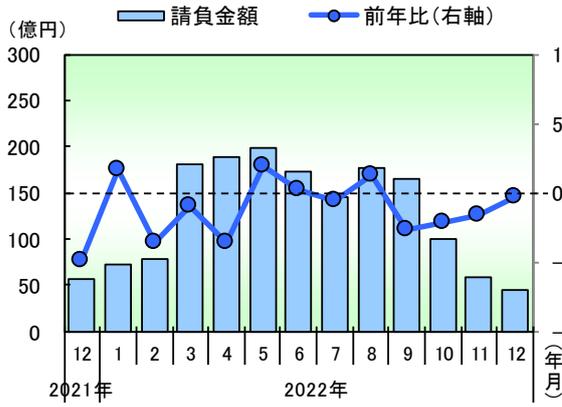
鉱工業生産指数(和歌山県)



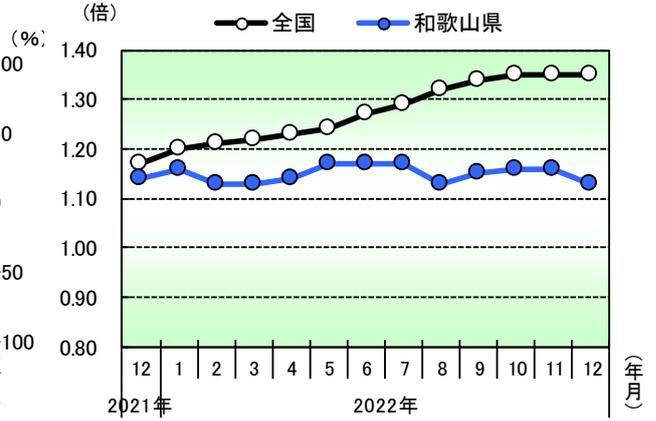
鉱工業生産指数(和歌山県)



公共工事請負金額(和歌山県)



有効求人倍率



(1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額		新車登録台数			新設住宅着工戸数			
	販売額(億円)	全国(前年比)	和歌山県(前年比)	登録台数(台)	全国(前年比)	和歌山県(前年比)	着工戸数(戸)	全国(前年比)	和歌山県(前年比)
2017年	1,237	0.0	-1.3	23,043	4.5	3.4	4,539	-0.3	-5.6
2018年	1,211	0.0	-2.1	22,509	-1.3	-2.3	4,935	-2.3	8.7
2019年	1,188	-1.1	-1.9	22,456	-1.9	-0.2	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	20,217	-12.3	-10.0	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	18,949	-2.9	-6.3	4,591	5.0	1.7
2021年11月	90.2	1.8	2.5	1,471	-13.4	-21.4	392	3.7	13.6
12月	107.1	1.7	-2.9	1,528	-10.2	-17.5	449	4.2	-9.3
2022年1月	100.6	3.0	-1.8	1,485	-12.5	-15.2	454	2.1	59.9
2月	84.2	0.5	-2.7	1,403	-18.6	-25.8	364	6.3	8.3
3月	85.2	2.1	-0.2	2,106	-14.8	-16.4	353	6.0	50.9
4月	86.5	4.6	2.9	1,171	-15.0	-24.8	389	2.4	-16.0
5月	86.8	9.1	-1.3	1,071	-16.7	-20.4	375	-4.3	14.3
6月	87.6	1.9	-4.5	1,344	-15.8	-11.8	344	-2.2	-15.1
7月	91.0	3.3	-0.8	1,428	-13.4	-9.8	358	-5.4	-21.3
8月	93.6	4.3	1.7	1,184	-13.3	-11.2	436	4.6	18.5
9月	85.0	4.8	-1.6	1,677	17.8	27.3	531	1.0	16.2
10月	89.3	4.9	2.6	1,437	19.7	27.5	372	-1.8	-11.4
11月	92.0	3.0	2.0	1,493	1.0	1.5	338	-1.4	-13.8
12月	107.8	4.1	0.7	1,500	-4.4	-1.8	444	-1.7	-1.1

(2023年2月1日に取得可能な資料より作成)

(2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2015年=100)								公共工事請負額		
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額(億円)	和歌山県(前年比)	
2017年	103.1	109.2	107.1	120.1	102.8	100.7	105.7	105.7	117.1	1,292.6	-9.5
2018年	104.2	109.2	109.5	117.9	101.2	98.1	106.1	134.7	1,487.6	15.1	
2019年	101.2	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6	
2020年	90.9	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5	
2021年	95.7	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2	
2021年11月	96.4	82.3	76.7	87.5	79.0	26.0	100.0	143.5	69.7	-20.7	
12月	96.6	90.4	79.0	86.9	86.3	97.4	102.8	146.1	57.6	-48.8	
2022年1月	94.3	93.0	83.0	87.1	98.0	93.6	98.0	119.8	72.0	16.5	
2月	96.2	92.4	80.9	86.1	89.1	90.4	104.0	137.1	79.1	-35.9	
3月	96.5	90.1	73.0	92.7	90.8	97.7	101.4	150.7	181.7	-9.3	
4月	95.1	92.7	81.4	93.9	89.7	110.3	95.3	139.2	189.2	-35.5	
5月	88.0	93.6	87.0	92.2	83.7	113.2	99.2	151.4	198.0	19.0	
6月	96.1	101.8	85.4	120.4	94.9	110.6	109.7	150.5	172.7	2.7	
7月	96.9	95.7	91.3	94.7	89.0	115.6	105.3	141.5	145.3	-5.5	
8月	100.2	101.2	95.1	99.6	98.1	89.8	109.4	149.1	176.8	12.5	
9月	98.5	101.9	85.3	115.0	100.4	91.4	110.1	139.8	166.1	-26.9	
10月	95.3	100.0	82.1	94.0	102.7	243.3	98.0	152.5	100.6	-21.2	
11月	95.5	100.4	83.2	99.1	98.1	151.3	121.9	137.0	58.5	-16.1	
12月	95.4								44.3	-2.3	

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2023年2月1日に取得可能な資料より作成)

(3)雇用面

	有効求人倍率		有効求人人数(人)	有効求職者数(人)	充足率	
	全国(倍)	和歌山県(倍)			パートタイム除く(%)	パートタイム(%)
2017年	1.50	1.27	17,110	13,518	22.2	19.3
2018年	1.61	1.34	17,355	12,970	19.6	18.1
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2021年11月	1.17	1.13	16,699	14,729	15.7	15.7
12月	1.17	1.14	16,743	14,626	11.9	13.4
2022年1月	1.20	1.16	17,155	14,761	12.0	12.7
2月	1.21	1.13	16,551	14,644	14.8	17.8
3月	1.22	1.13	16,594	14,676	18.7	21.9
4月	1.23	1.14	17,113	14,956	14.4	18.2
5月	1.24	1.17	17,836	15,303	17.0	19.7
6月	1.27	1.17	17,868	15,263	17.6	18.5
7月	1.29	1.17	17,651	15,082	13.4	16.4
8月	1.32	1.13	17,042	15,024	15.1	16.8
9月	1.34	1.15	16,884	14,627	14.2	15.4
10月	1.35	1.16	16,739	14,373	12.7	15.1
11月	1.35	1.16	16,541	14,252	14.5	15.7
12月	1.35	1.13	15,994	14,216	12.7	13.3

(注1)有効求人倍率、有効求人人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2023年2月1日に取得可能な資料より作成)

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。